

平成 29 年度 第 1 回紀の川市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 議事録要旨

開催日時 平成 29 年 6 月 13 日（火） 15 時 00 分から 16 時 35 分まで

開催場所 紀の川市役所 本庁 4 階 402 中会議室

出席者

【紀の川市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会】（委員 8 名）

仁藤会長、野村副会長、大畑委員、飯田委員、榎本委員、中村委員、山中委員、横山委員

【紀の川市（紀の川市まち・ひと・しごと創生本部）】（1 名）

森本企画部長（本部員）

【事務局（企画調整課）】（3 名）

角課長、野口、馬場

【傍聴】（なし）

資料

- ①平成 29 年度第 1 回紀の川市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 次第
- ②【参考資料】 平成 29 年度 紀の川市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業体系一覧

会議の概要

1. 開 会
2. 委嘱状交付
3. 委員紹介
4. 会長挨拶
5. 議 題

➤ 会長

審議会設置要綱第 6 条第 2 項「会議を公開」するために簡潔に取りまとめた議事録と写真の公開並びに音声録音の承諾。

➤ 会長

審議会設置要綱第 6 条第 4 項「審議会開催の成立」について報告。

①紀の川市人口ビジョン概要【P2・P3】

➤ 事務局

地方創生の主たる目的である「人口減少の克服」と「成長力の確保」を実現するために、人口を分析し、平成 27 年時点での紀の川市展望人口を何人に掲げるのかを、可視化した計画が「人口ビジョン」であり、紀の川市は 45,000 人に設定している旨を説明。

➤ 事務局

平成 27 年度実施の国民調査の人口が、社会人口問題研究所が推計した人口を下回る結果となった旨を説明。

質疑なし

②紀の川市総合戦略概要並びに事業体系【P2・P4・P5】

➤ 事務局

将来展望人口 45,000 人を確保するためには、転出者を抑制し転入者を促進させ、合計特殊出生率を 1.73 に引き上げる必要がある。それらを実現するための施策を記載しているものが総合戦略である旨を説明。

➤ 事務局

平成 28 年度実施事業を体系に基づき説明。

➤ 事務局

総合戦略の策定期間は平成 27 年度から平成 31 年度までの 5 年間。

➤ 事務局

単年度毎の効果は、本審議会において適時、効果検証する事を内閣府より義務付けられている旨の説明。

質疑なし

③紀の川市まち・ひと・しごと創生総合戦略年間スケジュール【P6】

➤ 今年度は本日を含め、審議会を 3 回開催する周知案内と各回の予定議題を説明。

質疑なし

④地方創生加速化交付金の効果検証について【P7～P12】

➤ 事務局

ローカルブランディング紀の川市について効果検証シートの上段から、事業目的・計画・実行の要点を説明し、事務局（案）を提示。

➤ 議長

事務局（案）に対し、皆様からのご意見・質疑を伺いながら、評価作業をすすめたいと考えている旨を説明。

➤ 委員意見

ピーチアビエイションに対し、積極的な販路開拓を行っている事は評価できる。

➤ 委員質疑

国外への展開は理解できたが、国内向けの事業展開はどの様に考えているのか？

➤ 事務局

首都圏並びに大阪圏の消費者が求める加工品の傾向を、データから明らかにすることができたので、根拠と市場ニーズに基づいた6次産業をすすめ利益性を高めたい旨を説明。

➤ 委員質疑

機内食として提供したアイスクリームは戦略的な媒体であったのか？また、その成果は評価できるものであったのか？

➤ 事務局

提供時は市の認知力を高める1つの媒体であり戦略的ではなかったが、結果的に今年6月より本格的にピーチアビエイションの機内食として導入いただいたことは成果を得る事ができたと理解している旨を説明。

➤ 委員質疑

本来の目的である紀の川市のフルーツを売り込むための、アイスクリームの位置づけは？

- 事務局
予想を超える反響があったアイスクリームは、生果での輸出が困難な品種でも、氷菓に加工することにより、新たな地域資源として積極的に輸出の可能性を探りたい旨の説明と併せて、紀の川市に興味や関心を持っていただく、ツールとして活用したい旨を説明。
- 委員質疑
当初のターゲットであるフルーツを、いかに売り込み、数字に結びつけていくのか？
- 事務局
具体的な輸出事業につきましては、後ほど議題⑤地方創生推進交付金の箇所でご審議いただく旨を説明。
- 議長
審議委員の皆様からご発言いただいた内容を評価へ反映し、私と事務局で修正したものを後日、お届けさせていただく旨を説明。
- 事務局
「フルーツ」を核とした紀の川市シティプロモーション戦略推進事業について効果検証シートの上段から、事業目的・計画・実行の要点を説明し、事務局（案）を提示。
- 議長
先ほどの事業と関連性が高いので、抱合した質問も受け付ける旨を説明。
- 委員質疑
台湾・香港の市場展望があるとの事だが、生産量や流通は市場規模に対応できるのか？
- 事務局
生産量に関しては調整できると考えているが、果物なので病気等のため生産量が低迷し、国内流通の市場単価が例年より高まる可能性も考えられる旨を説明。
- 委員意見
海外市場の開拓は良いことである。様々な課題も解決できるかが鍵となってくる。国内外への需要と供給バランスを考慮すべきである。

➤ 委員質疑

シティプロモーション戦略を策定した後は、その戦略を共有し、地域力を高めたり、メディアに対しプロモーションを展開していく作業が必要だと考えるが、具体的に何をやるのか？

➤ 事務局

審議委員、ご指摘のとおり地域の高まりを得るために1年目の取り組みとしては推進体制の構築とインナープロモーションに着手する必要がある。その高まりの中から、新たな地域資源の掘り起こしと、既存資源のブラッシュアップを図る必要がある。つづいて2年目は戦略的な情報発信をする旨を報告。

➤ 議長

インナープロモーションという言葉も飛び交っておりますが、「食育のまち 紀の川」と宣言しておりますので、地産地消の促進や、それに関連する情報提供も課題になってくると思われます。

➤ 委員質疑

プロモーションの核は「フルーツ」なのか。

➤ 事務局

「フルーツ」です。

➤ 事務局

紀の川エリアおもてなし観光サイクリング推進事業について効果検証シートの上段から、事業目的・計画・実行の要点を説明し、事務局（案）を提示。

➤ 議長

本事業は広域的な事業であったとの事務局からの説明がありましたが、県より補足説明を含め、効果などございましたら発言を願います。

➤ 県

紀の川市・岩出市の2市で広域的に取り組みましたが、不足している地域資源を補完するために、広域性を更に拡張した事についても評価をいただきたい旨を説明。

- 議長
審議会（案）の加筆修正に関しましては、議長と事務局で精査させていただき旨を確認。
- 委員質疑
レンタサイクルを 40 台購入したとの説明があった、その利用実績は？
- 県
年々増加傾向にはあるが、年間延べ約 400 台の利用実績。本交付金を活用し 40 台を購入する以前は 15 台で年間延べ約 250 台の利用実績であった旨を報告。
- 委員意見
健康ブームなので、サイクリングは良い。体験者が口コミで拡散してくれればなお良い。
- 議長
その他、ご意見・質疑がなければ 3 事業につきまして、ご発言の内容を私と事務局で加筆修正のうえ反映させていただき旨を確認。

⑤地方創生推進交付金の申請内容について【P13～P14】

- 事務局
本 2 事業は地方創生加速化交付金の後継事業として、平成 29 年度より 3 ヶ年にわたる事業を国に交付申請しておりますが、2 年目と 3 年目の事業については担保されていない旨を説明
- 事務局
紀の川市フルーツ・エクスポート推進事業について、事業背景・事業のねらい・申請額・内容を説明。
- 議長
事業推進にあたり審議委員の皆様からご助言等、ございますか？
- 委員質疑
DMO は、これから登録する予定だと思っておりますが、設立するには膨大なデータの収集と、

分析・解析することが必要となる。その結果、現在ターゲット化されている「国外」
「若い女性」が変更になる可能性はあるかとの質疑。

➤ 事務局

DMO の担当課よりデータを収集するために、独自調査を実施すると聞いておりますので、必然的にターゲットを変更する可能性はある旨の報告

➤ 委員質疑

本来であれば、その調査結果に基づいた施設、プロモーションに変更するべきである
と考えるので、根拠に基づいた事業設計を組み立ててください。

➤ 事務局

根拠に基づいた事業設計をたてるように、担当課と協議を重ねます。

➤ 委員質疑

国勢調査人口が社人研の人口推計を下回っているのは、かなり深刻である。
原因は何だと考えていますか。

➤ 事務局

総合戦略に記載されている雇用施策等が実施出来ていないことが一因だと考える。
人口については、重く受け止め明日の本部会等でも協議を行いたい。

➤ 委員意見

企業があるから人が来るのではなく、人がいるから企業が来るのであって、やはり出生率を高める施策と、人を呼び込む施策が必要と考える。例えば、どこかの自治体が日本語学校を誘致し、外国人留学生を呼び込む施策を展開している。何か大きな改革を引き起こす必要がある。

⑤紀の川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂【P15】

- 本年が策定期間中の中間年にあたり、国・県より必要に応じて改訂が求められているので、紀の川市としては、①重点戦略への転換②長期総合計画との整合③責任所在の明確化の3点に着目し、すすめていく旨の説明

その他（委員からの事例報告やアドバイス）

➤ 委員意見

新規就農者や六次化産業に係る融資をしているので紹介。

昨年度新規就農者は7件、六次化産業は2件融資している。

農業アドバイザーもおり、後継者問題等も相談に乗っているので、事業に関する相談がある場合は、声をかけて欲しい。